

平成 23 年度防災功労者知事表彰受賞者・受賞団体の概要

<団体>

○多聞防災会（たもんぼうさいかい）（王寺町）

自治会内で防災会議を開催し、地域内の危険箇所の把握と自治会内で防災資源の把握に努めておられます。平時からの取り組みとして、AED 普通救命講習や災害時の炊き出し訓練を子どもから高齢者まで幅広い方々の参加の下行われました。

また、地域ミニ防災訓練として、見学者から参加者へをスローガンに「顔の見える防災訓練」を実施されています。この訓練では、常備消防、消防団、自主防災組織が連携しながら実施され、この訓練を通じて地域課題として地域内に防災資機材の整備が必要との声から、計画的に整備され、資機材の点検と使用方法等にも取り組まれています。

<個人>

○西岡 康博（にしおかやすひろ）（天川村坪内）

紀伊半島大水害においては、天川村内でも未曾有の大きな被害が発生しました。

西岡氏は、いち早く河川の異変等を察知、役場に即座に状況を連絡するなどの確な判断をおこなわれました。このことが、地区内住民の迅速な避難につながり、地区内の住宅は大半が水没するなどの被害は大きかったものの、地区内の住民の人命は救われました。

<個人>

○千葉 勇（ちばいさむ）（十津川村野尻）

○中田 米藏（なかたよねぞう）（十津川村旭）

紀伊半島大水害については、十津川村においても明治 22 年の大水害に継ぐ大きな被害をもたらしました。各所で山崩れが発生し、道路も寸断され十津川村内の集落は孤立状態となり通信手段も途絶されました。

9 月 3 日の午後 6 時半頃、大字野尻の村営住宅 2 棟が対岸の土砂崩れの影響により押し流され、居住していた 11 名のうち 3 名が中田氏に救助されました。当時の現場は視界が悪く、自らの危険を顧みず、河川付近まで立ち入り、負傷していた 3 名を国道まで引き上げ救助されました。

千葉氏は、現場にかけつけ、中田氏により国道まで運ばれた 3 人を、いち早く車に収容し、小原診療所に搬送されました。両氏の連携は大変すばらしく、「共助」の模範ともいえるものです。